

● 平成23年度松山市議会議員海外都市行政視察 ～所感にかえて

団員 中村 嘉孝

1. はじめに

今年度の海外都市行政視察にあたり、出発前にさくら小学校でサクラメントのマツヤマ小学校の生徒たちとのチャット交流を見学したり、調査研究項目に関する勉強会を開き、松山市における取り組み状況などを学んだ後、1月31日から2月8日までの日程で、米国カリフォルニア州の姉妹都市・サクラメント市を皮切りにロサンゼルス、サンフランシスコを訪問した。以下、全体的な所感にかえて印象に残った数点について報告を行うこととする。

2. サクラメント市での交流

今回の視察団は、姉妹都市であるサクラメント市訪問が大きな目的のひとつであり、私たち視察団は2日目に市役所を表敬訪問、市議会を見学させていただき、ケビン・ジョンソン市長、スティーブ・コーン市議、ダレル・フォン市議と面談、ラルフ・スギモト会長を初めとした松山サクラメント姉妹都市協会の皆さんと昼食をとりながら交流を行った。

サクラメント市庁舎新館前には、サクラメント市の姉妹都市の方角と距離を表示した標識が立てられている。サクラメント市は、9つの都市と姉妹都市協定を締結しており、昨年30周年を迎えた松山市との交流の歴史は2番目に古い。いただいた資料の中に姉妹都市を紹介する立派なパンフレット（ちなみに松山市の紹介には松山城の写真が付けられている）があり、市



(姉妹都市を示す標識)
(松山まで5,551マイルとある)

長メッセージの中に「(姉妹都市との) 相互の尊重、理解、協働を通して平和を推進する」と記されていた。サクラメント市は、広島市が提唱する平和市長会議にも加盟しており、前市長は広島での国際会議に参加したことがあるそうだ。

市議会議事堂では、理事者が市民向けの施策説明会（意見交換会）を開いていた。議会の模様も地元テレビで放映されていることなど、後のサクラメント電力公社への視察でも感じたことだが、市民への説明責任をしっかりと果たしているという印象を受けた。

お二人の市議からは、市政の課題として雇用問題が深刻との話があった。以前は農業が中心であった当市も今は公務労働が柱となっているのだが、不況により警察官でさえ一時解雇をせざるを得ない状況ということだった。現在、医療や再生可能エネルギーに力を入れて取り組みを進めているとのことである。

また、姉妹都市協会の方々のお話によると、今秋、松山市を訪問する計画があるそうだ。国同士の外交努力だけでなく、「尊重・理解・協働」を促す草の根の国際交流を通して、平和な社会の実現に向けて私たちも努力していかねばならないと改めて感じた。

3. 楽しみながら「学び」の実践 ～サター砦の小さな出会い

マツヤマ小学校の先生が、サクラメントの名所として紹介していたサター砦を訪れた際、ちょうどサンフランシスコ郊外の小学校から子供たちが、先生と父母とともに1泊2日のいわば「体験学習」に来ているのに遭遇した。

子供も先生も保護者もみんな開拓当時の衣装を身にまとい、砦の施設内に糸紡ぎ、機織り、パン焼き、焼肉、毛皮づくり、幌馬車、交易所などのコーナーを設け、子供たちと父母と一緒に当時の生活を体験しながら、学ぶような仕組みとなっていた。子供たちは、歴史上有名な開拓



(サター砦の小さな出会い)

者の名札を付け、私たちや他の観光客にそれぞれの開拓者の個人史を語ってくれた。(事前学習を随分としたことだろう) 聞くところによると、経費はバザーの収益などで捻出し、衣装は父母の手作りだという。学校独自のプログラムだと思われるが、素晴らしい取り組みに出会うことができた。

4. 自由競争を生き抜く知恵～小規模農園の挑戦

ロサンゼルス郊外のマグラース家族農園 (McGrath Family Farm) では、大規模生産に対抗し、有機栽培に特化して果物や野菜を生産し、成功をおさめている実情を伺うことができた。街中の産直市にあたるファーマーズ・マーケットに出店し、レストランチェーンを率いる有名シェフの目にとまり、契約することで販路を確保できたことが大きなきっかけであり、それは運であったと話されていたのが印象に残った。

この農園の労働者はメキシコからの契約労働者で、フィルさんは労働者にスペイン語で指示を出していた。日本では、米国の失業率の高さが報道されることが多いが、農業労働やホテルのベッドメイキングなどの仕事は、低賃金ということもあり、敬遠されることが多いらしく、メキシコをはじめとした中南米諸国から働きにやってくる人が多いとのこと。日本の非正規労働の問題と重なって見えた。

5. 結びにかえて

今回、視察団に参加してみて、個人の視察では経験することのできない貴重な経験を積むことができた。視察先の調査項目以外にも、さまざまな面で異文化の現実を目の当たりにすることにより大いに刺激を受けた。今後の活動に生かし、少しでも未来のまちづくりに貢献することができればと考えている。

最後に当たり、団員の皆様を初め、今回の視察にご尽力いただいた皆様方に心より感謝を申し上げ、報告を閉じることとする。